



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL <http://www.taxan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	174,047	3.9	6,613	27.7	7,093	29.0	5,510	13.3
29年3月期第3四半期	167,486	△8.1	5,178	△15.7	5,500	△14.6	4,863	11.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 6,916百万円 (37.9%) 29年3月期第3四半期 5,017百万円 (30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	200.86	—
29年3月期第3四半期	172.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	128,937	71,004	55.0
29年3月期	125,751	65,932	52.4

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 70,928百万円 29年3月期 65,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
30年3月期	—	30.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

29年3月期 中間配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当 5円00銭

29年3月期 期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当 15円00銭

30年3月期 中間配当金の内訳 普通配当25円00銭 特別配当 5円00銭

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 特別配当 5円00銭

配当予想の修正については、本日（平成30年2月6日）公表いたしました「業績修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	2.1	8,000	16.3	8,700	18.5	6,450	△7.5	235.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年2月6日）公表いたしました「業績修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	28,702,118株	29年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,267,325株	29年3月期	1,266,468株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	27,435,262株	29年3月期3Q	28,126,870株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きが一服しているものの、円安基調や海外経済の回復に伴い企業収益が改善しており、それに伴い設備投資も堅調に推移するなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、パソコン市場や遊技機器市場は低迷が続くものの、新興国での需要拡大と高機能化対応によるスマートフォン市場やエレクトロニクス化が進む車載関連市場が堅調に推移いたしました。またIoT^(注1)、ビッグデータ、人工知能などの新しい技術の関連市場も活発な動きが見られるなど好調に推移いたしました。

かかる環境の中で、当社グループは「すべてはお客様のために」を経営理念とし、既存大手顧客への拡販活動や海外におけるEMS^(注2)ビジネスの拡大に注力してまいりました。

その結果、第3四半期連結累計期間における売上高は174,047百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益は6,613百万円(前年同四半期比27.7%増)、経常利益は7,093百万円(前年同四半期比29.0%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,510百万円(前年同四半期比13.3%増)となりました。

(注1)Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

(注2)Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業(半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など)

電子部品事業は、電子機器向けEMSビジネスや半導体の販売などが好調に推移いたしました。その結果、売上高は129,058百万円(前年同四半期比1.4%増)となり、セグメント利益は4,509百万円(前年同四半期比11.0%増)となりました。

②情報機器事業(パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など)

情報機器事業は、住宅向けおよび商業施設向け関連商材が好調に推移いたしました。その結果、売上高は34,745百万円(前年同四半期比13.4%増)となり、セグメント利益は1,659百万円(前年同四半期比96.5%増)となりました。

③ソフトウェア事業(CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など)

ソフトウェア事業は、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などの受注が低迷いたしました。その結果、売上高は1,541百万円(前年同四半期比22.6%減)となり、セグメント利益は91百万円(前年同四半期比69.5%減)となりました。

④その他事業(エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など)

その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やゴルフ用品販売事業が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は8,702百万円(前年同四半期比14.8%増)となり、セグメント利益は236百万円(前年同四半期はセグメント損失144百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、128,937百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,185百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものであります。

負債につきましては、57,933百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,886百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少によるものであります。

純資産につきましては、71,004百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,072百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①平成30年3月期 通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	232,000	7,500	8,200	6,300	229.63
今回修正予想（B）	232,000	8,000	8,700	6,450	235.10
増減額（B）－（A）	－	500	500	150	－
増減率（％）	－	6.7	6.1	2.4	－
（ご参考）前期実績 （平成29年3月期）	227,209	6,879	7,343	6,975	249.43

②業績予想の理由

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績を概観しますと、遊技機器関連市場が依然低調な状況にあるものの、主力事業である電子機器向けEMSビジネスや半導体・電子部品の販売、および住宅向け関連商材等の販売が好調に推移しております。

このように順調な業績進捗を踏まえつつ、先行きの不透明さを慎重に織り込んで通期連結業績予想を見直した結果、前回発表予想を上回る見込みとなりましたので、上記の通り上方修正いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,423	30,945
受取手形及び売掛金	46,774	43,254
電子記録債権	5,234	4,600
有価証券	188	203
商品及び製品	14,675	15,990
仕掛品	365	911
原材料及び貯蔵品	4,284	4,437
繰延税金資産	1,340	721
その他	4,562	3,672
貸倒引当金	△166	△165
流動資産合計	103,684	104,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,859	4,638
機械装置及び運搬具（純額）	2,014	2,264
工具、器具及び備品（純額）	742	742
土地	4,126	4,036
建設仮勘定	3	362
有形固定資産合計	11,745	12,045
無形固定資産		
のれん	406	339
ソフトウェア	363	528
その他	71	53
無形固定資産合計	841	921
投資その他の資産		
投資有価証券	6,761	8,789
繰延税金資産	240	219
差入保証金	735	668
保険積立金	936	948
その他	1,529	1,359
貸倒引当金	△723	△587
投資その他の資産合計	9,479	11,399
固定資産合計	22,067	24,366
資産合計	125,751	128,937

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,553	36,378
短期借入金	4,883	5,136
未払費用	3,387	2,793
未払法人税等	888	686
役員賞与引当金	204	140
その他	3,325	3,535
流動負債合計	50,242	48,671
固定負債		
長期借入金	4,603	3,482
繰延税金負債	1,213	1,941
役員退職慰労引当金	1,222	1,258
退職給付に係る負債	1,669	1,626
資産除去債務	144	154
その他	723	798
固定負債合計	9,576	9,262
負債合計	59,819	57,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,853
利益剰余金	40,476	44,203
自己株式	△2,040	△2,042
株主資本合計	64,481	68,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,159	1,929
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	421	980
退職給付に係る調整累計額	△190	△130
その他の包括利益累計額合計	1,391	2,780
非支配株主持分	59	75
純資産合計	65,932	71,004
負債純資産合計	125,751	128,937

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	167,486	174,047
売上原価	144,409	149,805
売上総利益	23,076	24,242
販売費及び一般管理費	17,898	17,628
営業利益	5,178	6,613
営業外収益		
受取利息	43	78
受取配当金	99	110
受取手数料	140	133
為替差益	—	80
その他	201	235
営業外収益合計	484	638
営業外費用		
支払利息	99	99
持分法による投資損失	—	44
為替差損	25	—
その他	36	13
営業外費用合計	161	158
経常利益	5,500	7,093
特別利益		
固定資産売却益	22	26
投資有価証券売却益	41	591
負ののれん発生益	28	—
子会社株式売却益	—	467
事業譲渡益	89	12
特別利益合計	181	1,098
特別損失		
固定資産除却損	7	8
投資有価証券売却損	31	23
投資有価証券評価損	—	133
減損損失	10	224
事業構造改善費用	10	—
ゴルフ会員権評価損	11	6
その他	0	0
特別損失合計	73	397
税金等調整前四半期純利益	5,608	7,795
法人税、住民税及び事業税	1,073	1,254
法人税等調整額	△339	1,015
法人税等合計	734	2,269
四半期純利益	4,874	5,525
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,863	5,510
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	14

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	425	771
繰延ヘッジ損益	28	0
為替換算調整勘定	△376	559
退職給付に係る調整額	64	60
その他の包括利益合計	142	1,391
四半期包括利益	5,017	6,916
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,004	6,900
非支配株主に係る四半期包括利益	12	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	127,268	30,647	1,992	7,577	167,486	—	167,486
セグメント間の内部 売上高又は振替高	611	368	1,249	1,975	4,204	△4,204	—
計	127,879	31,015	3,242	9,552	171,690	△4,204	167,486
セグメント利益又は 損失(△)	4,061	844	300	△144	5,061	116	5,178

(注)1. セグメント利益の調整額116百万円には、セグメント間取引消去116百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	129,058	34,745	1,541	8,702	174,047	—	174,047
セグメント間の内部 売上高又は振替高	793	867	656	449	2,767	△2,767	—
計	129,851	35,613	2,197	9,151	176,815	△2,767	174,047
セグメント利益	4,509	1,659	91	236	6,497	115	6,613

(注)1. セグメント利益の調整額115百万円には、セグメント間取引消去115百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。